

NEJIREBANE, No. 112, 25. Feb., 2005

田村 保氏蒐集のコメツキムシ
Elaterid-beetles Collected by the late Tamotsu TAMURA from Japan

岸井 尚 (Takashi KISHII)

〒569-1044 高槻市上土室 1-10, 6-410

2003年の初め頃、茨木市の八木正道さんを介して大阪市の故田村 保 (Tamotsu TAMURA) さんが蒐集された多くのコメツキムシ科甲虫の同定を依頼された。大部分は近畿圏の資料で一部南西諸島産も含まれ、これらの資料データを記録する。なお、産地名は全てラベル表記に従い、採集者は全て田村さん本人なので省略した。

[本州産資料]

Pectocera hige hige KISHII, 1993 ヒゲコメツキ

奈良市春日山, 1♂, 1. V. 1980.

Limoniscus vittatus (CANDÈZE, 1873) タテスジカネコメツキ

和歌山県大倉畑山, 1♀, 4. V. 1983.

Scutellathous comes fujianus ÔHIRA, 1963 チャイロツヤハダコメツキ

奈良県大台ヶ原山, 1♂, 17-18. VI. 1978.

Hemicrepidius (Hemicrepidius) sinuatus sinuatus (LEWIS, 1894) コクロツヤハダコメツキ

大阪府金剛山, 2♂♂, 8. VII. 1978.

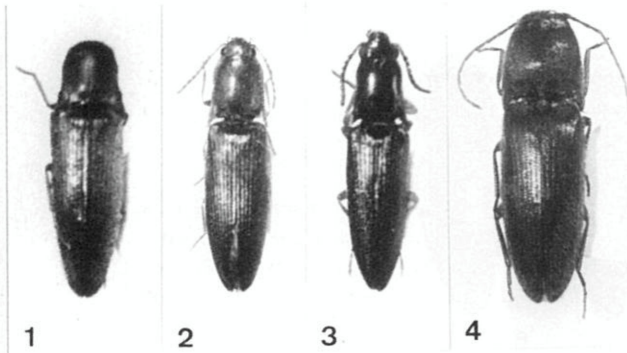
Hemicrepidius (Hemicrepidius) secessus secessus (CANDÈZE, 1873) クロツヤハダコメツキ

奈良県大台ヶ原山, 1♂, 17-18. VI. 1978.

Hemicrepidius (Miwacrepidius) subcyaneus (MOTSCHULSKY, 1866) ルリツヤハダコメツキ

奈良県大台ヶ原山, 1♀, 17-18. VI. 1978.

- Corymbitodes gratus* (LEWIS, 1894) ドウガネヒラタコメツキ
兵庫県氷ノ山, 1♀, 12. VI. 1977.
- Actenicerus odaisanus* (MIWA, 1928) オオダイルリヒラタコメツキ
奈良県大台ヶ原山, 2♂♂, 1♀, 17-18. VI. 1978.
- Actenicerus kiashianus* (MIWA, 1928) ホソシモフリコメツキ
兵庫県氷ノ山, 1♂, 12. VI. 1977.
- Actenicerus pruinus* MOTSCHULSKY, 1861 シモフリコメツキ
奈良市春日山, 1♂, 11. V. 1980; 奈良県大台ヶ原山, 3♀♀, 17-18. VI. 1978; 兵庫県氷ノ山, 2♀♀, 12. VI. 1977.
- Actenicerus aerosus aerosus* (LEWIS, 1879) ヘリアカシモフリコメツキ
兵庫県氷ノ山, 1♀, 12. VI. 1977; 愛媛県小田深山, 1♀, 5-7. V. 1972.
- Anostirus (Ipostirus) daimio* (LEWIS, 1894) ダイミョウヒラタコメツキ
兵庫県氷ノ山, 1♀, 12. VI. 1977; 愛媛県小田深山, 1♀, 5-7. V. 1972.
- Gamepenthès versipellis* (LEWIS, 1894) メスアカキマダラコメツキ
奈良県大台ヶ原山, 1♂, 17-18. VI. 1978.
- Ampedus (Ampedus) orientalis* (LEWIS, 1894) アカコメツキ
兵庫県氷ノ山, 1♀, 12. VI. 1977.
- Ampedus (Ampedus) vestitus vestitus* (LEWIS, 1894) ケブカクロコメツキ
和歌山県大倉畑山, 2♂♂, 4. V. 1983; 兵庫県氷ノ山, 1♂, 12. VI. 1977.
- Ampedus (Ampedus) hypogastricus hypogastricus* (CANDÈZE, 1873) アカハラクロコメツキ
和歌山県大倉畑山, 1♂, 4. V. 1983; 和歌山県日御碕, 1♀, 4. VI. 1977.
- Ampedus (Ampedus) tenuistriatus* (LEWIS, 1894) ホソクロコメツキ
奈良県大台ヶ原山, 1♂, 17-18. VI. 1978; 兵庫県氷ノ山, 2♀♀, 12. VI. 1977.
- Ampedus (Ampedus) japonicus japonicus* SILFVERBERG, 1977 アカアシクロコメツキ
和歌山県大倉畑山, 1♂, 1♀, 4. V. 1983.
- Dalopius bizen* KISHII, 1984 チュウゴクナカグロヒメコメツキ (写真1)
兵庫県氷ノ山, 1♂, 1♀, 12. VI. 1977.
中国・近畿・四国の瀬戸内に面する山地から知られるが, 山口・島根・広島の中中国山地には近似のスオウナカグロヒメコメツキ *D. suoh* が分布し, 広島県内での両種の分布関係を詳しく調査する必要がある。兵庫県の西北山地には多いが, 現在それ以東の地域からは知られていない。今回の雄資料は上翅が一様に黄色で黒色縦条は見られないが, 会合線のみ淡褐色な特異な個体である。
- Dalopius tamui* KISHII, 1957 ホソナカグロヒメコメツキ
和歌山県大倉畑山, 1♂, 4. V. 1983.
- Ectinus sericeus sericeus* (CANDÈZE, 1873) カバイロコメツキ
兵庫県氷ノ山, 1♂, 1♀, 12. VI. 1977.
- Vuilletus crebrepunctatus* (NAKANE, 1959) オオミドリヒメコメツキ
兵庫県氷ノ山, 4♀♀, 12. VI. 1977.
- Vuilletus peropacus* (NAKANE, 1959) ツヤケシミドリヒメコメツキ
和歌山県大倉畑山, 1♀, 4. V. 1983.
- Sericus hiramatsui* (ÔHIRA, 1995) ヒメホソコガネコメツキ (写真2)
和歌山県大倉畑山, 1♂, 1♀, 4. V. 1983.
和歌山県を基産地として記載され, 以後三重・京都・兵庫・山口・愛媛・大分などからも知られている。最近, 近似のスオウホソコガネコメツキ *S. tanakai* が京都と山口から発見されたのと, これらとよく似た未記載の別種が兵庫県の赤西溪谷からも得られている。互いによく似ているが, 前胸背板点刻状態と雄生殖器官側片先端部の形状に明確な差異点が認められる。



1. チュウゴクナカクロヒメコメツキ
2. ヒメホソコガネコメツキ
3. オキナワミドリヒメコメツキ
4. リュウキュウコナガコメツキ

Dolerosomus gracilis (CANDÈZE, 1873) キバネホソコメツキ
和歌山県大倉畑山, 7♂♂, 7♀♀, 4. V. 1983.

Silesis musculus musculus CANDÈZE, 1873 クチプトコメツキ
大阪府金剛山, 1ex., 8. VII. 1978.

Melanotus legatus legatus CANDÈZE, 1860 クシコメツキ
和歌山県日御碕, 1♂, 4. VI. 1977.

Melanotus erythropygus erythropygus CANDÈZE, 1873 コガタクシコメツキ
和歌山県日御碕, 1♂, 1♀, 4. VI. 1977.

Spheniscosomus cete cete (CANDÈZE, 1860) アカアシオオクシコメツキ
和歌山県大倉畑山, 1♀, 4. V. 1983; 和歌山県日御碕, 1♀, 4. VI. 1977.

Cardiophorus pinguis LEWIS, 1894 クロハナコメツキ
兵庫県氷ノ山, 1♀, 12. VI. 1977.

[南西諸島産資料]

Pectocera yonaha KISHII, 1995 オキナワヒゲコメツキ (写真5)
沖縄本島国頭村奥, 2♂♂, 5. IV. 1981.

南西諸島での本属は主要島嶼毎に独自の分化をしていて、現在6種(1亜種)の分布が知られている。互いによく似ているが、触角各節の形状、雄生殖器側片先端部の形状などに比較的分かり易い差異点が認められる。

Abelater pulcherus (MIWA, 1933) キバネツヤケシコメツキ
石垣島オモト, 1♀, 4. V. 1984.

Mulsanteus aureopilosus (MIWA, 1934) リュウキュウコナガコメツキ (写真4)
与那国島祖納, 1♂, 8. III. 1980.

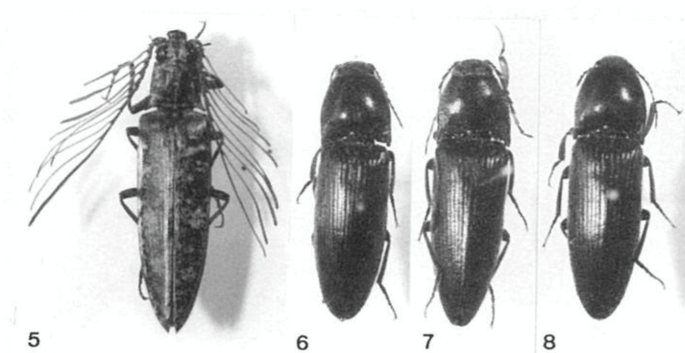
西表島が基産地で石垣島との両島では比較的良好に見られ、奄美大島・沖縄本島・伊平屋島などからの記録例もあるが筆者はまだ検出する機会を持たない。今回の与那国島の記録は初めてのものとなる。また筆者は他に竹富島の資料(1♂, 23. IX. 1979, 保賀昭夫 leg.)も検出しており、先島諸島には多くはないが広く生息するようである。

Vuilletus amamiensis okinawanus ÔHIRA, 1971 オキナワミドリヒメコメツキ (写真3)
沖縄本島国頭村与那, 3♂♂, 3♀♀, 18. III. 1980.

美しい青緑色光沢の強い種で原名亜種は奄美大島に分布し、沖縄本島産のものはこれに比し小型で細い。

Melanotus satoi okinawensis ÔHIRA, 1982 オキナワカンシャクシコメツキ
沖縄本島国頭村奥, 2♂♂, 1♀, 24. III. 1981; 1♀, 3. IV. 1981; 沖縄本島与那, 1♂, 2. IV. 1981.

独立種として記載されたが、筆者は少なくとも南西諸島に広く分布する幼虫による甘蔗根茎の



5. オキナワヒゲコメツキ
6. バンナクシコメツキ
7. タカハシクシコメツキ
8. ヤエヤマクシコメツキ

食害コメツキは、互いに極めて近い関係にあるもので、それぞれの島嶼に分散適応した時間経過を考えると、未だ互いに亜種的關係にとどまるものと見なしている。和名のカンシャをカンショと表記している報告も多いが、当初甘蔗を甘藷と区分するためか砂糖黍の方ををカンシャとしたものようであるが明らかでない。

Melanotus satoi sakishimensis ÔHIRA, 1982 サキシマカンシャクシコメツキ

与那国島祖内, 2♂♂, 5♀♀, 22. III. 1982; 1♂, 27. III. 1982; 1♀, 3-4. V. 1979.

Melanotus bannaensis ÔHIRA, 1978 バンナクシコメツキ (写真6)

与那国島祖納, 1♀, 3-4. V. 1979; 1♀, 22. III. 1982.

沖縄本島以北に分布する大型強固なりユウキュウクシコメツキ *M. lochooensis* によく似るが、より小型で前胸腹板突起は明らかに基部で内方へ曲がる。なお、前者は突起基部が曲がらず突起長のはほぼ 1/2 まで後方へ伸びてから内方へ曲がるので、*Melanotus* 種としては疑問で *Spheniscosomus* 種とするべきと思われる。与那国島からは初めての記録である。

Melanotus takahashii KISHII, 1974 タカハシクシコメツキ (写真7)

沖縄本島国頭村与那, 1♂, 2. IV. 1981.

当初、本邦で最も普遍的に知られるクシコメツキ *M. legatus* の亜種として記載されたが、最近では奄美諸島と沖縄諸島での置換種的なものとして独立種に考えられている。

Melanotus yayeyamacola KISHII, 1974 ヤエヤマクシコメツキ (写真8)

与那国島祖納, 1♀, 22. III. 1982.

本種もクシコメツキと前種に近似の種であるが、先島諸島で分化したものであろう。

<参考文献>

KISHII, T. 1999. A check-list of the family Elateridae from Japan (Coleoptera). Bull. Heian High Sch., Kyoto, 42: 1-144.

三木三徳氏蒐集のコメツキムシ
Elatrid-beetles Collected by Minoru MIKI from Japan

岸井 尚 (Takashi KISHII)

〒569-1044 高槻市上土室 1-10, 6-410

2003年の初め頃、茨木市の八木正道さんを介して豊中市の三木三徳 (Minoru MIKI) さんが蒐集された多くのコメツキムシ科甲虫の同定を依頼された。大部分は近畿圏の資料で、一部国外産もあるがこれは除き、本邦産資料についての資料データを記録する。なお、産地名は全てラベル表記に従い、採集者は全て三木さん本人なので省略した。

Pectocera hige hige KISHII, 1993 ヒゲコメツキ

京都市左京区杉峠, 1♀, 25. VI. 1991; 奈良市春日山, 1♀, 20. IV. 1993; 1♂, 16. VI. 2002; 奈良市高円山 (Takamado-yama), 1♂, 17. V. 1996; 箕面市止々呂美, 1♂, 26. V. 2001; 1♂, 1♀, 25. V. 2002; 箕面市, 1♂, 1♀, 28. V. 1997.

Cryptalaus larvatus pini (LEWIS, 1894) フタモンウバタマコメツキ

奈良市春日山, 1♀, 16. VIII. 1991; 1♀, 24. VI. 1997.

Cryptalaus berus (CANDÈZE, 1865) ウバタマコメツキ

岐阜県本巣郡根尾村ひなた, 1♀, 6. VI. 1991; 三重県関町, 1♀, 7. X. 1989; 箕面市箕面公園, 1♀, 27. VII. 1990; 神戸市六甲国際 C.C., 1♀, 13. VI. 1989.

Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus (MOTSCHULSKY, 1861) サビキコリ

奈良市春日山, 1♀, 6. VI. 1995.

Agrypnus (Colaulon) scrofa scrofa (CANDÈZE, 1873) ヒメサビキコリ

京都市左京区芹生, 1♂, 18. IV. 1989.

Prodrasterius agnatus (CANDÈZE, 1873) マダラチビコメツキ

箕面市箕面 C.C., 1 ex., VII. 1965.

Limoniscus limbatipennis (NAKANE et KISHII, 1955) ヘリアカカネコメツキ (写真1)

奈良県滝坂 (Takisaka), 1♂ (腹部欠落), 16. V. 1990.

邦産本属の種数は最近の研究進展で極めて多くの種の分布が知られてきたが、本種はその中でも最も記録例の少ない種の一つで、これまでに青森・長野・京都・奈良・岡山・山口・高知等から報告されているが、その中で筆者が実際に検鏡確認出来たものは長野(ホロタイプ, ♂)・京都(芦生演習林, ♀)・奈良(大台ヶ原, ♂)と今回の資料の4例のみである。本種は外形や色彩がウスチャイロカネコメツキ *Nothodes marginicollis* に酷似していて誤同定の可能性もある。前胸腹側板後縁が明瞭に円弧状に彫れていて後角部は太く幅広のものが本種であり、後者はほぼ直線状で後角部は細く突出気味で、触角も本種は各節が幅広の鋸歯状で後者では細く糸状に近い。

Limoniscus imitans (LEWIS, 1894) タテジマカネコメツキ

京都市左京区貴船溪谷, 1♂, 24. IV. 1990; 箕面市箕面公園, 1♂, 12. IV. 1990; 1♂, 12. IV. 1991.

Stenagostus umbratilis (LEWIS, 1894) オオツヤハダコメツキ

奈良市春日山, 1♀, 16. VIII. 1991.

Scutellathous comes fujianus ÔHIRA, 1963 チャイロツヤハダコメツキ

和歌山県護国寺山, 1♀, 12. VIII. 1989.

Hemicrepidius (Hemicrepidius) desertor desertor (CANDÈZE, 1873) ヒメクロツヤハダコメツキ

奈良県上北山村和佐又山, 1♂, 13. VII. 1991; 大阪府金剛山, 1♂, 18. VII. 2000; 徳島県剣山, 1♂, 27. VII. 1994.

Hemicrepidius (Hemicrepidius) sinuatus sinuatus (LEWIS, 1894) コクロツヤハダコメツキ

京都市左京区花背, 1♀, 15. VII. 1989; 奈良市若草山, 1♂, 1-15. V. 1996; 奈良県上北山村和佐又山, 1♂, 13. VII. 1991; 豊中市, 1♀, VIII. 1963.

Hemicrepidius (Hemicrepidius) secessus secessus (CANDÈZE, 1873) クロツヤハダコメツキ

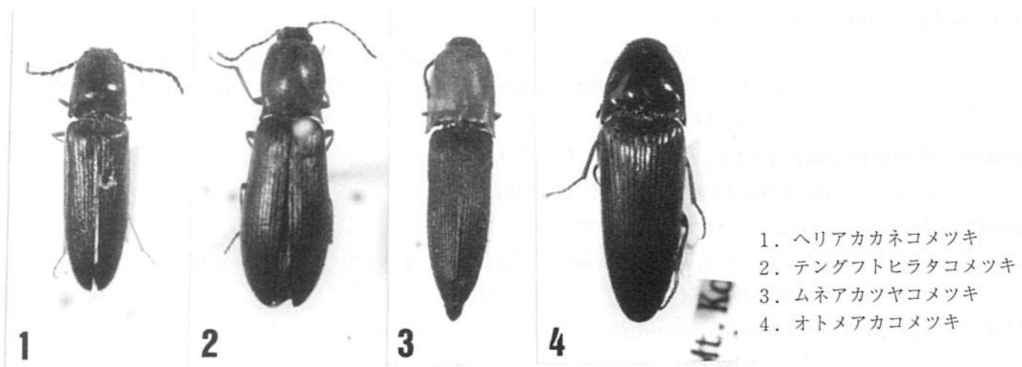
奈良県御所市大和葛城山, 1♂, 5. VII. 2000; 和歌山県高野山, 2♂♂, 18. VII. 1997; 大阪府千早赤阪村金剛山, 1♂, 1♀, 18. VII. 2000.

Hemicrepidius (Miwacrepidius) subcyaneus (MOTSCHULSKY, 1866) ルリツヤハダコメツキ

長野県福島町木曾福島, 1♀, 5. VII. 1990; 1♀, 6. VIII. 1990; 2♀♀, 4. VII. 1991; 1♀, 8. VI. 1993.

Mucromorphus miwai miwai KISHII, 1962 ヒメアオツヤハダコメツキ

長野県王滝村八海山, 2♂♂, 22. VII. 2000.



1. ヘリアカカネコメツキ
2. テングフトヒラタコメツキ
3. ムネアカツヤコメツキ
4. オトメアカコメツキ

Acteniceromorphus fulvipennis (LEWIS, 1894) アカハネフトヒラタコメツキ
京都市右京区高雄, 1♂, 1. V. 1990; 和歌山県高野山, 1♀, 11. V. 1991.

Acteniceromorphus tengu (MIWA, 1934) テングフトヒラタコメツキ (写真2)
奈良県上北山村大台ヶ原山, 1♀, 31. V. 1989.

東海・北陸地方の山地で比較的多く見られ, 近畿圏では少ない。これまでの記録例では奈良・和歌山の両県のみである。なお, 愛媛県からの報告例もあるが, これはやや疑問である。

Corymbitodes gratus (LEWIS, 1894) ドウガネヒラタコメツキ
和歌山県護摩壇山, 1♀, 28. V. 1990.

Corymbitodes concolor (LEWIS, 1894) ホソヒラタコメツキ
京都市左京区貴船溪谷, 1♂, 18. IV. 1990.

Paraphotistus notabilis notabilis (CANDÈZE, 1873) オオヒラタコメツキ
箕面市箕面公園, 1♂, 12. IV. 1990.

Actenicerus yamashiro KISHII, 1998 コガタシモフリコメツキ
京都市左京区花脊, 1♂, 12. VI. 1990.

ホソシモフリコメツキ *A. kiashianus* によく似ているが, 体形はより軟弱小型で上翅の霜降り状斑紋は不明瞭で, 雄では殆ど一様な灰白毛で被われる個体が多い。雄交尾器側片先端部の形状も互いに似ているが, 側方突起はより短く頂部はより厚く丸まる。京都市のいわゆる北山地域の山地では5月頃, 極めて多くの個体が集中的に発生することがある。

Actenicerus aerosus aerosus (LEWIS, 1879) ヘリアカシモフリコメツキ
京都市右京区高雄, 1♀, 1. V. 1990; 奈良市春日山, 1♀, 6. VI. 1995; 1♂, 28. IV. 2001.

Anostirus (Ipostirus) daimio (LEWIS, 1894) ダイミョウヒラタコメツキ
山梨県芦川村, 5♂♂, 1♀, 12. V. 1994; 和歌山県高野山, 1♂, 1♀, 10. V. 1990.

Neopristilophus serrifer serrifer (CANDÈZE, 1873) アカヒゲヒラタコメツキ
奈良市若草山, 1♂, 1-15. V. 1996; 同春日山, 1♂, 6. VI. 1995; 奈良県滝坂 (Takisaka), 1♂, 29. IV. 1989.

Denticollis nipponensis nipponensis ÔHIRA, 1973 ベニコメツキ
奈良県御所市葛城山, 1♀, 16. VI. 2000.

Denticollis versicolor (LEWIS, 1894) メスグロホタルコメツキ
長野県王滝村八海山, 1♀, 24. VII. 1997.

Gamepenthès ornatus (LEWIS, 1894) コキマダラコメツキ
滋賀県比良山, 1♀, 22. VII. 1988; 和歌山県高野山, 1♀, 23. VII. 1993.

Gamepenthès versipellis (LEWIS, 1894) メスアカキマダラコメツキ
奈良県大台ヶ原山, 1♂, 25. VII. 1998; 和歌山県護摩壇山, 1♀, 21. VII. 1990; 1♀, 25. VII. 1990.

Megapenthes opacus CANDÈZE, 1873 ムネアカツヤケシコメツキ (写真3)

奈良市春日山, 1♀, 28. IV. 2001; 大阪府能勢妙見山, 1♀, 4. VII. 1989.

雌雄共に前胸部が濃紅色の特徴ある種類で, 近似のクロサワツヤケシコメツキ *M. kurosawai* では雄前胸部は黒色である. 共に多い種ではないが, 本種の奈良県採集例は比較的多い.

Ampedus (Miwaelater) carbunculus (LEWIS, 1879) ヒメクロコメツキ

奈良市春日山, 1♀, 23. V. 2002.

Ampedus (Ampedus) azurescens scutellaris (LEWIS, 1894) セダカアカコメツキ

長野県福島町木曽福島, 1♂, 5. VII. 1990; 同町東山, 1♀, 5. VI. 1991.

Ampedus (Ampedus) optabilis optabilis (LEWIS, 1894) オオアカコメツキ

奈良県大台ヶ原山, 1♀, 31. V. 1989.

Ampedus (Ampedus) otome KISHII, 1992 オトメアカコメツキ (写真4)

大阪府金剛山, 1♀, 18. VII. 2000.

南アルプスの鳳凰山御座石鉱泉で多くの個体が採集され記載されたが, 離れた京都・兵庫・奈良の各地からも得られており, 今回大阪府下からも見出された. 本邦産アカコメツキ類で最も普通に見られる *A. orientalis* アカコメツキによく似た種であるが, 脚部と上翅の色彩がより濃紅色で, 両性の生殖器構造でも明確な差異点が認められる.

Ampedus (Ampedus) hypogastricus hypogastricus (CANDÈZE, 1873) アカハラクロコメツキ

滋賀県比良山, 1♂, 22. VII. 1988; 奈良市春日山, 1♀, 26. IV. 1990; 1♂, 18. II. 1992; 1♀, 10. IX. 1998; 2♂♂, 28. IV. 2001; 同若草山, 1♀, 1-15. V. 1996; 1♀, 23. V. 2002.

Ampedus (Ampedus) tenuistriatus (LEWIS, 1894) ホソクロコメツキ

滋賀県比良山, 1♂, 22. VII. 1988; 和歌山県護国山, 1♀, 28. V. 1990.

Ampedus (Ampedus) japonicus japonicus SILFVERBERG, 1977 アカアシクロコメツキ

奈良市春日山, 1♂, 1♀, 26. IV. 1990; 和歌山県高野山, 1♂, 10. V. 1990.

Ectinus longicollis (LEWIS, 1894) ムネナガカバイロコメツキ

長野県王滝村八海山, 1♀, 25. VII. 1996; 1♂, 1♀, 24. VII. 1997; 2♂♂, 22. VII. 2000.

Mulsanteus junior junior (CANDÈZE, 1873) ヒゲナガコメツキ

奈良県葛城山, 1♂, 7. VI. 2000.

Nipponoelater sieboldi (CANDÈZE, 1873) オオナガコメツキ

兵庫県波賀町赤西溪谷, 1♀, 5. IX. 1991.

Vuilletus crebrepunctatus (NAKANE, 1959) オオミドリヒメコメツキ

奈良市春日山, 1♀, 28. IV. 2001.

Vuilletus viridis (LEWIS, 1894) (*subopacus* NAKANE, 1959) ミドリヒメコメツキ

大阪府東山 (ラベルのまま), 1♂, 28. VI. 1993.

邦産の本属では前胸背点刻と点刻間表面の構造で複数の種・亜種・異常型などの個体群が知られているが, それぞれに中間的構造を持つものや, 地域的な差異点も認められ, 両性の生殖器構造でも明確な差異点は見出し難く, 最も同定困難なコメツキの仲間である. 今回の個体は NAKANE (1959: 94) により本種の異常型 (*aberrant form subopacus*) として発表されたもので, 別の独立種または亜種として記録された例も多い.

Dolerosomus gracilis (CANDÈZE, 1873) キバネホソコメツキ

奈良市若草山, 1♀, 23. V. 2002.

Lanecarus palustris (LEWIS, 1894) ニセクチプトコメツキ

高槻市, 2 exs., 8. IV. 1994 (1 ex.)

Silesis musculus musculus CANDÈZE, 1873 クチプトコメツキ

長野県王滝村八海山, 1 ex., 25. VII. 1996; 1 ex., 22. VII. 2000; 京都市左京区花背, 1♂, 15. VII. 1989; 大阪府能勢妙見山, 1♂, 4. VII. 1989.

- Glyphonyx bicolor bicolor* CANDÈZE, 1893 キバネクチボソコメツキ
箕面市箕面公園, 1 ex., 9. VII. 1988.
- Melanotus senilis senilis* CANDÈZE, 1865 クロクシコメツキ
奈良市春日山, 1♂, 1♀, 6. VI. 1995.
- Melanotus legatoides* KISHII, 1975 ヒメクシコメツキ
奈良市若草山, 1♂, 1-15. V. 1996; 1♀, 24. VI. 1997; 同春日山, 1♀, 16. VI. 2002; 和歌山県高野山, 1♀, 18. VII. 1997; 芦屋市芦屋 C.C., 1♀, 15. VII. 1995; 明石市明石公園, 2♀♀, 10. VII. 2000.
- Melanotus legatus legatus* CANDÈZE, 1860 クシコメツキ
豊中市, 2♂♂, 13. V. 2001.
- Melanotus spernendus spernendus* CANDÈZE, 1873 ナガチャクシコメツキ
奈良市若草山, 1♂, 1-15. V. 1996.
- Melanotus erythropygus erythropygus* CANDÈZE, 1873 コガタクシコメツキ
奈良市若草山, 2♂♂, 1-15. V. 1996.
- Spheniscosomus cribricollis* (FALDERMANN, 1835) オオクロクシコメツキ
岐阜県根尾村根尾谷ひなた, 1♂, 6. VI. 1991.
- Spheniscosomus cete cete* (CANDÈZE, 1860) アカアシオオクシコメツキ
箕面市止止呂美, 1♀, 2. VI. 2000; 1♀, 25. V. 2002; 奈良市若草山, 1♂, 1-15. V. 1996; 1♂, 1♀, 6. VI. 1995; 奈良県葛城山, 2♂♂, 1♀, 7. VI. 2000.
- Spheniscosomus koikei* (KISHII et ÔHIRA, 1956) ヒラタクシコメツキ
箕面市箕面公園, 1♂, 4. II. 1989.
- Cardiophorus pinguis* LEWIS, 1894 クロハナコメツキ
奈良市春日山, 1♀, 6. VI. 1995; 奈良県大台ヶ原山, 1♂, 31. V. 1989.
- Paracardiophorus sequens sequens* (CANDÈZE, 1873) アカアシコハナコメツキ
神戸市須磨海岸, 2♀♀, 9. V. 1989.

<参考文献>

- NAKANE, T. 1959. Notes on the Elaterid-beetles of Japan (1). Akitu, Kyoto, 8(4): 91-94.
- NAKANE, T. & KISHII, T. 1955. Descriptions of a few new forms of the Elaterid-Beetles from Japan, with notes on some others. Sci. Rep. Saikyo Univ. (Nat. Sci. & Liv. Sci.), Kyoto, 2 (1, A. Ser.): 43-46.

八木正道氏蒐集のコメツキムシ (2002 年度)

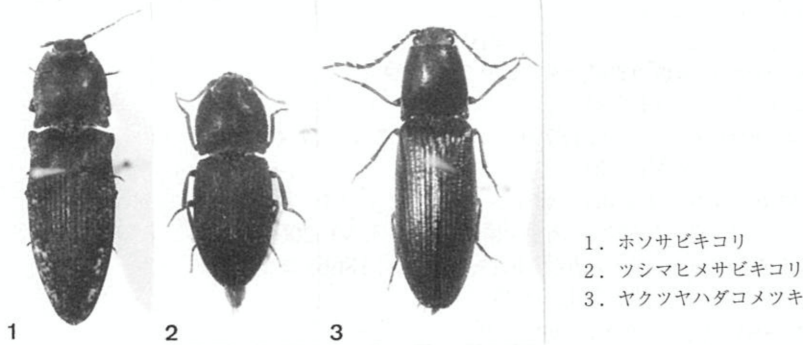
Elaterid-beetles Collected by Mr. Masamiti YAGI from Japan in 2002

岸井 尚 (Takashi KISHII)

〒569-1044 高槻市上土室 1-10, 6-410

2003 年の初めに茨木市の八木正道さんから前年度蒐集の台湾を含む豊富な資料の研究を依頼された。八木さんからは毎年の様に、多様な地域からの多くのコメツキムシ資料を調査させて頂いている。この報告では台湾を除く本邦産資料についての資料データを記録する。なお、産地名は全てラベル表記に従い、採集者は全て八木さん本人なので省略する。

- Pectocera hige hige* KISHII, 1993 ヒゲコメツキ
熊本県阿蘇仙酔峡, 1♂, 3. VI. 2002; 1♂, 4. VI. 2002.



1. ホソサビキコリ
2. ツシマヒメサビキコリ
3. ヤクツヤハダコメツキ

***Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus* (MOTSCHULSKY, 1861) サビキコリ**

奈良市春日山, 1♂, 2. V. 2002; 鹿児島屋久島長久保, 1♂, 11. VI. 2002.

***Agrypnus (Sabikikorius) fuliginosus* (CANDÈZE, 1865) ホソサビキコリ (写真1)**

鹿児島県上屋久町長久保, 1♀, 11. VI. 2002.

屋久島からは既に記録があるが、その記録例は極めて少なく、筆者は安房産(1♂, 20. V. 1960, Y. KIMURA leg.)と今回の資料を検したのみである。

***Agrypnus (Colaulon) tsushimensis tsushimensis* ÔHIRA, 1986 ツシマヒメサビキコリ (写真2)**

兵庫県家島, 1♀, 23. IV. 2002.

対馬を基産地として記載され、その後日本海側中北部の飛鳥・粟島・佐渡島からの別亜種分布も知られ、原名亜種個体群は列島東南沿岸部、特に瀬戸内沿岸の多くの地点での分布が判明した。家島群島からは初めてであるが、淡路島西岸や神戸市海浜地からの記録例は豊富である。

***Cryptalaus larvatus pini* (LEWIS, 1894) フタモンウバタマコメツキ**

奈良市春日山, 1♂, 2. V. 2002.

***Limoniscus rufipennis* (LEWIS, 1894) ハネアカカネコメツキ**

熊本県矢部町椎矢峠, 1♂, 5. VI. 2002.

本種は LEWIS により熊本県人吉を基産地として記載されているので、今回の椎矢峠の個体はホロタイプ個体群直系子孫の可能性が強い。

***Yukara inornata* (LEWIS, 1894) キバネツヤハダコメツキ**

北海道札幌市定山溪温泉, 1♀, 12. VIII. 1979.

筆者の不明で別種 *Hemicrepidius* (s. str.) *kibane* KISHII に本種と同じキバネツヤハダコメツキの和名を用いていたので、後者はキイロツヤハダコメツキと訂正する。

***Hemicrepidius (Hemicrepidius) secessus secessus* (CANDÈZE, 1873) クロツヤハダコメツキ**

京都府大山崎町, 1♂, 29. V. 2002.

***Hemicrepidius (Hemicrepidius) desertor yakuensis* KISHII, 1969 ヤクツヤハダコメツキ (写真3)**

鹿児島県屋久島小杉谷, 1♂, 12. VI. 2002.

邦産7種のツヤハダコメツキ類では *desertor*, *secessus*, *sinuatus* の3種が本土と付属諸島から知られ、付属諸島生息の個体群では色彩と形状等にそれぞれ固有の特徴があり、それぞれ幾つかの亜種が知られている。屋久島には何れの種にも固有の別亜種が分布し、今回の本種屋久亜種は一般に体の肥厚度が強く、腹部全面が赤褐色で体表は紫色傾向の強い金属光沢が明瞭なものが殆どであるが、本土などでは腹部全面が黒色で体表は青緑光沢の個体が多い。

***Hemicrepidius (Miwacrepidius) subcyaneus* (MOTSCHULSKY, 1866) ルリツヤハダコメツキ**

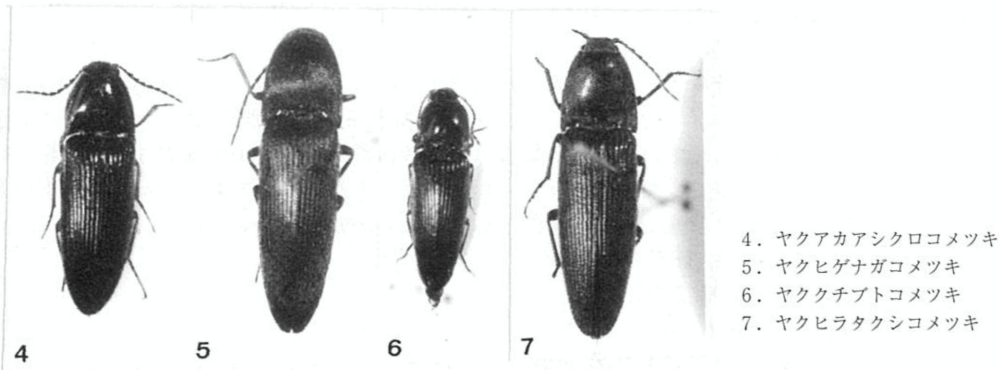
北海道札幌市定山溪温泉, 2♀♀, 12. VIII. 1979.

***Acteniceromorphus kurofunei* (MIWA, 1934) ミヤマフトヒラタコメツキ**

熊本県矢部町椎矢峠, 1♂, 5. VI. 2002.

宮崎県椎葉村から最近、本種に極めてよく似た別種が得られている。熊本・宮崎の両県からは共に本種は既に記録例があるが、九州では一般に多いものではないようである。

- Corymbitodes gratus* (LEWIS, 1894) ドウガネヒラタコメツキ
北海道札幌市定山溪温泉, 2♂♂, 2♀♀, 12. VIII. 1979.
- Corymbitodes concolor* (LEWIS, 1894) ホソヒラタコメツキ
熊本県矢部町椎矢峠, 1♂, 5. VI. 2002.
- Actenicerus aerosus aerosus* (LEWIS, 1879) ヘリアカシモフリコメツキ
熊本県矢部町椎矢峠, 1♀, 5. VI. 2002.
- Actenicerus pruinosus* MOTSCHULSKY, 1861 シモフリコメツキ
奈良市春日山, 1♀, 2. V. 2002; 熊本県阿蘇仙酔峠, 1♀, 3. VI. 2002.
- Selatosomus (Selatosomus) puncticollis* (MOTSCHULSKY, 1866) コガネコメツキ
北海道札幌市定山溪温泉, 1♀, 12. VIII. 1979.
- Denticollis nipponensis nipponensis* ÔHIRA, 1973 ベニコメツキ
奈良市春日山, 1♀, 2. V. 2002; 熊本県矢部町椎矢峠, 1♂, 1♀, 5. VI. 2002.
- Ampedus (Ampedus) optabilis kusuii* ÔHIRA, 1989 エゾオオアカコメツキ
北海道札幌市定山溪温泉, 1♂, 12. VIII. 1979.
- Ampedus (Ampedus) orientalis* (LEWIS, 1894) アカコメツキ
奈良市春日山, 1♂, 2. V. 2002.
- Ampedus (Ampedus) japonicus kosugiensis* KISHII, 1983 ヤクアアカシクロコメツキ (写真4)
鹿児島県屋久島小杉谷, 3♂♂, 1♀, 12. VI. 2002.
本邦固有種でやや普通に各地の山地で見られ、屋久島とトカラ諸島中之島のものでは触角節形状と各節長さの比及び生殖器形状などの違いで別亜種となる。なお、以前筆者 (1997: 10–11) は北海道産の 9 mm 弱の小型で脚部と腹部が赤色の1雌個体によって、これを本種の北海道亜種と見なし記載したが⁸ (*okhotskanus*)、これは後に得られた複数の両性資料の検討で同定判断の誤りで、別種 *A. hypogastricus* アカハラクロコメツキの北海道亜種と見なすべきものであった。分類学的な修正処理は近く別の報告で行うが、本種の北海道分布はないと見られる。
- Ampedus (Ampedus) tenuistriatus* (LEWIS, 1894) ホソクロコメツキ
熊本県矢部町椎矢峠, 3♂♂, 1♀, 5. VI. 2002.
- Ectinus dahuricus persimilis* (LEWIS, 1894) オオカバイロコメツキ
北海道札幌市定山溪温泉, 1♂, 12. VIII. 1979.
- Mulsanteus junior yakuensis* (KISHII, 1983) ヤクヒゲナガコメツキ (写真5)
鹿児島県屋久島長久保, 1♂, 11. VI. 2002.
雄交尾器中片が細く、基部から先端部近くまで一様に細まる点で、基部近くが明瞭に側方へ膨出し、全体に太い中片を持つ原名亜種とは明瞭に異なるが、外部形態的には差異点が極めて少なく別亜種と見なすのが妥当であると考え。
- Vuilletus crebrepunctatus* (NAKANE, 1959) オオミドリヒメコメツキ
熊本県矢部町椎矢峠, 1♀, 5. VI. 2002.
- Dolerosomus gracilis* (CANDÈZE, 1873) キバネホソコメツキ
兵庫県家島, 1♀, 23. IV. 2002.
- Silesis yaku* KISHII, 1976 ヤククチプトコメツキ (写真6)
鹿児島県上屋久町小瀬田, 1♂, 15. VI. 2002.
Synaptini (ニセムナボソコメツキ族) の本邦周辺の仲間では、特に *Silesis*, *Glyphonyx* の両属が多様な種に分化し特に南西諸島で著しいが、形態的には外部形状も両性生殖器官構造でも互によく似ていて、同定困難なコメツキムシの一つである。屋久島からは本属 *Silesis* 種としては本種のみが知られており、類似の本土産種 *musculus* クチプトコメツキとは一般に体の肥厚度が強く、前胸部と上翅周辺が赤褐色になる傾向が強いため分かり易い。
- Melanotus senilis senilis* CANDÈZE, 1865 クロクシコメツキ
奈良市春日山, 2♀♀, 2. V. 2002.
- Melanotus correctus correctus* CANDÈZE, 1865 ヒラタクロクシコメツキ
奈良市春日山, 1♂, 1♀, 2. V. 2002; 熊本県阿蘇仙酔峠, 1♂, 3. VI. 2002.



4. ヤクアカアシクロコメツキ
5. ヤクヒゲナガコメツキ
6. ヤククチプトコメツキ
7. ヤクヒラタクシコメツキ

***Melanotus correctus issikii* MIWA, 1929 ヤクヒラタクシコメツキ (写真7)**

鹿児島県屋久島長久保, 1♀, 11. VI. 2002.

腹節が明瞭な赤橙色の本種は屋久島固有独立種として記載されたが, 中根・岸井 (1958: 38) により前種の亜種とされた。九州本土では熊本・大分辺りのものは明らかに腹節は全面が完全に黒色なのと他の特徴からも前種であるが, 南端の鹿児島県佐多岬, 宮崎県南部の青井岳からは腹部末端数節と周縁が赤褐色の個体も得られている。しかし, 体形と体毛等の特徴では屋久島個体群は九州本土のものとは異なるので, それぞれを別の独立種と考えてもよいかも知れない。

***Melanotus erythropygus erythropygus* CANDÈZE, 1873 コガタクシコメツキ**

奈良市春日山, 2♂♂, 1♀, 2. V. 2002.

***Spheniscosomus cete cete* CANDÈZE, 1860 アカアシオオクシコメツキ**

奈良市春日山, 1♀, 2. V. 2002; 熊本県阿蘇仙酔峡, 6♂♂, 2♀♀, 3-4. VI. 2002.

***Yukoana carinicollis* (LEWIS, 1894) ヘリムネマメコメツキ**

熊本県矢部町椎矢峠, 1♀, 5. VI. 2002.

***Dicronychus nothus* (CANDÈZE, 1865) オオハナコメツキ**

熊本県阿蘇仙酔峡, 6 exs., 3. VI. 2002; 3 exs., 4. VI. 2002.

***Cardiophorus pinguis* LEWIS, 1894 クロハナコメツキ**

奈良市春日山, 1♀, 2. V. 2002.

***Paracardiophorus pullatus yasudai* ÔHIRA, 1995 エゾコハナコメツキ**

北海道札幌市定山溪温泉, 1♀, 12. VIII. 1979.

<参考文献>

- KISHII, T. 1997. Notes on Elateridae from Japan and its adjacent Area (15). Bull. Heian High Sch., Kyoto, 31: 1-11.
中根猛彦・岸井尚. 1958. 屋久島の甲虫類. 叩頭虫科. 西京大学学術報告, 2(5): 34-42.

上手雄貴氏蒐集の四国産コメツキムシ

Elaterid-beetles Collected by Mr. Yûki KAMIDE from Shikoku, Japan

岸井 尚 (Takashi KISHII)

〒569-1044 高槻市上土室 1-10, 6-410

2003年の暮れ頃北見市の加藤敏行さんから, 上手雄貴さんが愛媛大学時代に愛媛県と香川県で得られたコメツキムシ資料を頂き研究を依頼されたので, この報告でその資料データを記録する。なお, 産地名は全てラベル表記に従い, 採集者名は全て上手さんなので省略した。

***Homotechnes brunneofuscus* (NAKANE, 1954) チャグロヒサゴコメツキ (写真1)**

愛媛県松山市米野町, 2 exs., 26. V. 2001.

本種記載時に基準標本の指定はないが、愛媛県面河渓谷産の2雄資料と木曾福島・高野山・貴船産の6頭(4♂♂, 2♀♀)をタイプとして挙げている。現在本州(山形以西)・四国・九州のやや低山地帯に広く分布する事が知られているが、近畿圏以東の個体群に比し、中国地方・四国・九州で見られる個体群は明らかに小型で軟弱な感じが強く体色もより赤茶色気味である。本邦産の本属5種の中では属の基本種である中国江西省辺りに分布する*H. corymbitoides*に最もよく似ている。

***Limoniscus vittatus* (CANDÈZE, 1873) タテスジカネコメツキ**

愛媛県北条市高縄山, 1♂, 6. V. 2001.

***Harminius (Harminius) galloisi* MIWA, 1928 ガロアムネスジダンダラコメツキ**

愛媛県温泉郡重信町皿ヶ峰, 1♂, 23. VIII. 2001.

***Scutellathous seinoi* KISHII, 2001 ヒゴツヤハダコメツキ (写真2, 3)**

愛媛県上浮穴郡面河村石鎚山面河溪, 1♂, 3. VII. 2002; 温泉郡重信町皿ヶ峰, 1♀, 23. VIII. 2001.

長く LEWIS (1894: 200) が北海道札幌からの資料で記載した *S. comes* チャイロツヤハダコメツキと、本州以南の山地で燈火によく来集するよく似たものを同種と見なしていたが、これには複数の種が混じっており、*comes* 類似の個体群はその別亜種と見られ、他はより大型濃色の *S. sasajii* ホソアカツヤコメツキと上記種でこれはより大型で体色も更に濃色である。*comes* 類似の個体群は多くの点で OHIRA (1963: 16) が富士山の朝霧高原からの大型の雌資料で記載した *S. fujianus* と酷似しており、多分に同じもので *comes* の亜種とすべきであろう。上記の本種は熊本県で得られた一頭の雌個体のみで記載されたが、四国・九州の山地には広く分布するようである。

***Hemicrepidius (Hemicrepidius) secessus secessus* (CANDÈZE, 1873) クロツヤハダコメツキ**

愛媛県上浮穴郡面河村石鎚山面河溪, 1♂, 3. VII. 2002.

***Corymbitodes gratus* (LEWIS, 1894) ドウガネヒラタコメツキ**

愛媛県北条市高縄山, 1♀, 6. V. 2001.

***Actenicerus naomii* KISHII, 1996 シコクシモフリコメツキ (写真4)**

愛媛県上浮穴郡面河村石鎚山面河溪, 1♂, 3. VII. 2002.

アジア東部で多くの種に分化した本属は、特に本邦でそれが著しく現在24種と4亜種が知られているが、四国に分布する本種も長く本州で多く見られる大型のシモフリコメツキ *A. orientalis* オオシモフリコメツキと同種と見なされていたものである。

***Paraphotistus niger* (MIWA, 1928) クロオオヒラタコメツキ (写真5)**

愛媛県北条市高縄山, 1♂, 6. V. 2001.

大型のヒラタコメツキ類で目立つ種であるが、最近何れの地域でも採集記録は減少気味である。本邦固有の属で3種知られ、他の2種は既に愛媛県からの記録があるが、本種は四国から初めての記録となり、これで本属の全てが四国に分布することになる。

***Ampedus (Miwaelater) carbunculus* (LEWIS, 1879) ヒメクロコメツキ**

香川県大川郡白鳥町白鳥ダム, 1♀, 14. V. 2001.

***Ampedus (Ampedus) orientalis* (LEWIS, 1894) アカコメツキ**

愛媛県越智郡玉川町檜原山 (Narabara), 2♂♂, 28. IV. 2001.

***Ampedus (Ampedus) tenuistriatus tenuistriatus* (LEWIS, 1894) ホソクロコメツキ**

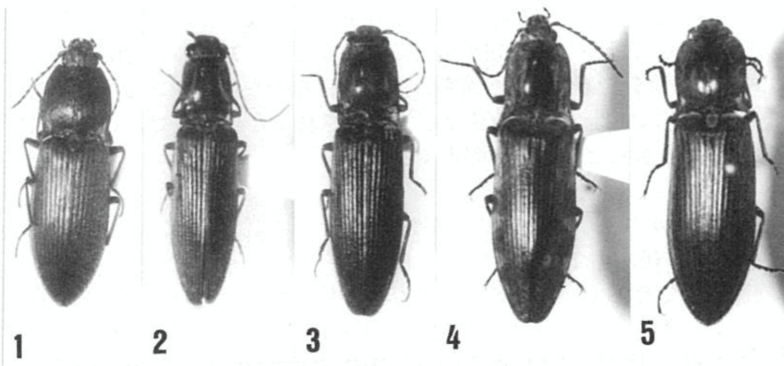
愛媛県北条市高縄山, 1♂, 6. V. 2001.

***Ectinus sericeus sericeus* (CANDÈZE, 1878) カバイロコメツキ**

愛媛県北条市高縄山, 3 exs., 6. V. 2001.

***Mulsanteus junior junior* (CANDÈZE, 1873) ヒゲナガコメツキ**

愛媛県松山市南高井町重信川河川敷, 1♂, 10. V. 2002.



1. チャグロヒサゴコメツキ
- 2, 3. ヒゴツヤハダコメツキ
- 4 シコクシモフリコメツキ
5. クロオオヒラタコメツキ

Dolerosomus gracilis (CANDÈZE, 1873) キバネホソコメツキ
香川県大川郡白鳥町白鳥ダム, 1 ♀, 14. V. 2001.

Silesis musculus musculus CANDÈZE, 1873 クチブトコメツキ
愛媛県上浮穴郡面河村石鎚山面河溪, 1 ex., 3. VII. 2002.

Glyphonyx illepidus CANDÈZE, 1873 クチボソコメツキ
愛媛県松山市米野町, 1 ex., 18. VII. 2001.

Melanotus senilis senilis CANDÈZE, 1865 クロクシコメツキ
愛媛県松山市南高井町重信川河川敷, 1 ♂, 10. V. 2002.

Spheniscosomus koikei (KISHII et ÔHIRA, 1956) ヒラタクシコメツキ
香川県丸亀市川西町, 1 ♀, 10. VI. 2002.

Fleutiauxellus (Migiwa) curatus curatus (CANDÈZE, 1873) ミズギワコメツキ
愛媛県松山市南高井町重信川河川敷, 1 ex., 10. V. 2002.

Dicronychus nothus (CANDÈZE, 1865) オオハナコメツキ
愛媛県松山市南高井町重信川河川敷, 2 exs., 10. V. 2002.

Cardiophorus niponicus LEWIS, 1894 ホソハナコメツキ
愛媛県北条市高縄山, 1 ex., 6. V. 2001.

Paracardiophorus pullatus pullatus (CANDÈZE, 1873) コハナコメツキ
愛媛県松山市南高井町重信川河川敷, 1 ex., 10. V. 2002.

<参考文献>

- KISHII, T. et JIANG, S.-H. 1994. Notes on the Chinese Elateridae, I (Coleoptera). Ent. Rev. Japan, Osaka, 49 (2): 87-102.
NAKANE, T. 1954. New or little known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. X. Trans. Shikoku Ent. Soc., 4 (1): 7-15.
ÔHIRA, H. 1963. New or little known Elateridae from Japan. VI (Coleoptera). *ibid.*, 8 (1): 15-18.

椋木博昭氏蒐集の興味あるコメツキムシ

Some Interesting Clicks Collected by Mr. Hiroaki MUKUGI
from the Western Province of Chugoku District, Honshu, Japan

岸井 尚 (Takashi KISHII)

〒569-1044 高槻市上土室 1-10, 6-410

山口県を中心とした西南日本の多くの資料について、筆者は幸いなことに 2002 年から 2003 年に亘り、山口県立博物館と山口県在住の田中馨・椋木博昭両氏のご好意で極めて豊富な資料の検討をさ

せて頂き、その内容については同博物館の紀要 (2004. Bull. Yamaguchi Mus., 30: 53-90, 91-104, 105-143) に発表して頂いたが、その中では多くの新知見を得ることができた。さらに 2003 年暮れ頃に椋木さんから、新しいコメツキムシ資料 (83 種) が送られてきて、なかなか興味あるものも含まれていた。これらの新鮮な資料の全容は同氏が同好会誌などで発表されると思うので、この報告では特に興味ある以下の 13 種について分布などの知見を報告する。

***Athousius kaorutanakai* KISHII, 2004** スオウホソツヤコメツキ

山口県美祿郡美東町秋吉台, 3♂♂, 16. VI. 2001.

田中薫氏と山口県立博物館の所蔵標本中に極めて多くの資料が見出されたもので、最初に見たときは九州から記載されたキタノホソツヤコメツキ *A. kitanoi* OHIRA と考えたが、白杵市の堤内雄二さんのご好意で検しえたキタノホソツヤとは多くの点で異なる事が判明して、最近山口博物館の紀要で発表したものである。これと極めて近似の別の種もほぼ同時に西宮市の田中勇氏により淀川上流のいわゆる三川合流地点(大山崎近辺)の川原で発見されこれも新種として記載したが、共に田中姓の方が発見されたので、上記のような種小名を付け、淀川のものには *isamutanakai* ヨドホソツヤコメツキと名付けた (2004. Ent. Rev. Japan, 59: 61-63).

***Harminius (Harminius) singularis hondoensis* KISHII, 1985** コガタムネスジダンダラコメツキ

(写真1)

島根県鹿足郡匹見町安蔵寺山, 2♂♂, 5♀♀, 2. VIII. 2003.

中国地域からは未発見であったが、今回山口県と島根県の資料が得られ、特に安蔵寺山では燈火に多く来集するようである。

***Scutellathous comes fujianus* (OHIRA, 1963)** フジチャイロツヤハダコメツキ

島根県鹿足郡匹見町安蔵寺山, 2♂♂, 1♀, 2. VIII. 2003.

本種はチャイロツヤハダコメツキの名称で、本邦各地の山地で燈火に集まるものが多く採集されてきたが、本州産個体群は上記のように北海道原産の原名亜種とは異なる別亜種と見るのが正しい。中国地方では普通に見られるが、島根県からの記録は初めてのようである。

***Hemicrepidius (Hemicrepidius) sinuatus sinuatus* (LEWIS, 1894)** コクロツヤハダコメツキ

島根県鹿足郡匹見町安蔵寺山, 1♂, 1♀, 2. VIII. 2003; 広島県佐伯郡吉和村十方山林道, 1♀, 14. VII. 2001.

普通種であるが、島根・広島両県からの記録はない。クロツヤハダコメツキとして記録されたものの中に含まれていた可能性が高い。

***Acteniceromorphus kurofunei* (MIWA, 1934)** ミヤマフトヒラタコメツキ (写真2)

島根県鹿足郡柿木村糞谷, 2♂♂, 10. V. 2003.

中国地方では島根県からのみ未記録であった。

***Corymbitodes concolor* (LEWIS, 1894)** ホソヒラタコメツキ

島根県鹿足郡匹見町七村, 1♂, 27. IV. 2002.

どこでも普通に産する種であるが、島根県からの記録は初めてのようである。

***Paraphotistus notabilis notabilis* (CANDÈZE, 1873)** オオヒラタコメツキ (写真3)

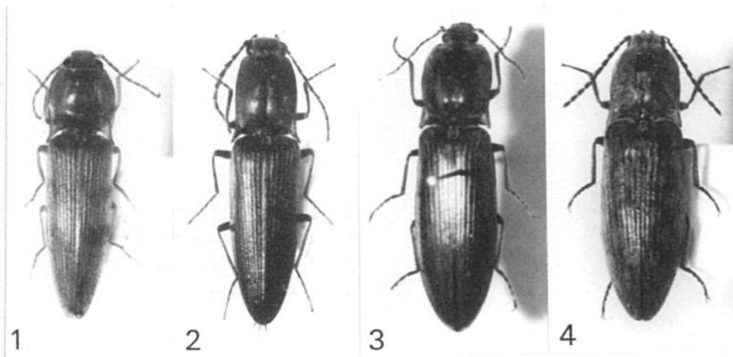
広島県佐伯郡吉和村十方山林道, 1♀, 5. V. 1998.

東北地方を除き本州から九州までの各地に広く分布するが、最近採集される事が少なくなっている。ロシア沿海州・朝鮮半島からの報告例があるが、共に疑問な点もあり本邦独特の進化群の固有属の可能性が高い。

***Actenicerus suzukii choushu* KISHII, 2004** チュウゴクシモフリコメツキ (写真4)

広島県山県郡芸北町八幡高原, 1♀, 12. V. 2002.

基亜種は京都花園産の資料で三輪勇四郎博士が記載したものである。シモフリコメツキ類の中では体色が赤茶褐色で独特であるが、局所的に分布し得られる個体数も一般には少ない。しかし



1. ムネスジダンダラコメツキ
2. ミヤマフトヒラタコメツキ
3. オオヒラタコメツキ
4. チュウゴクシモフリコメツキ

成虫発生時には狭い範囲内の地で極めて多くの個体が短期間のみ見られることがあるようで、筆者は京都嵐山の嵯峨念仏寺境内の近くで数百頭の発生を見ており、山口県の三好和雄さんも山口の十種ヶ峰のチゴザサ群落上での多数個体を目撃しておられる(三好, 1993: 13). 本種は地域的に特異の形態的变化や、両性の生殖器構造でも明確に差異点がそれぞれに認められ、4亜種群に分けられており、山口・広島の間境に近い山地に生息するものには、最近上記名称が付された。

***Actenicerus orientalis* (CANDÈZE, 1889) オオシモフリコメツキ (写真5)**

広島県佐伯郡吉和村十方山林道, 1♀, 18. V. 1997; ditto, 1♂, 22. VI. 1997; ditto, 1♂, 20. VI. 1999.

大型で上翅毛斑の顕著なシモフリコメツキ類は、本州に広く分布する本種以外に地域的に類似の別種が幾つか知られる。今回の広島県や隣接する山口県から得られた資料は、一般に近畿圏以北のものとは比して大型で幾分異なる感を抱かせ、また九州本土の個体群では逆に細く小型で、それぞれの地域での特異性が認められる。

***Reitterelater miyako* (KISHII, 1969) ミヤコアラハダチャイロコメツキ (写真6)**

島根県鹿足郡匹見町安蔵寺山, 1♂, 2. VIII. 2003.

これまでの分布域は筆者(2002: 5)が触れたように、主として本州近畿圏以西の比較的低地の山林での燈火に來集したものが得られており、石川・三重・宮崎の標本も検しているが珍しい種で、島根県からは初めての記録となる。

***Ampedus (Ampedus) optabilis optabilis* (LEWIS, 1894) オオアカコメツキ**

島根県鹿足郡柿木村糞谷, 1♀, 10. V. 2003.

邦産のアカコメツキ類ではアカコメツキ *A. orientalis* に次いで最も普遍的に見られる種で、中国地方では島根県以外で既に報告例がなされているが、本県ではこれが初めての記録になる。

***Ampedus (Ampedus) sp.* クロコメツキ一種 (写真7)**

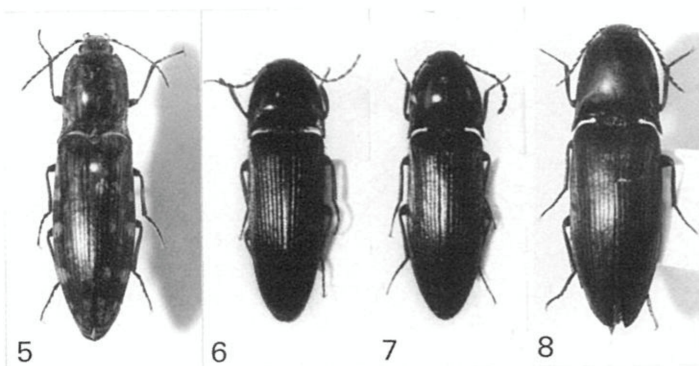
山口県玖珂郡錦町寂地山, 1♀, 30. VI. 2001, light.

今回寂地山から得られた本種は、京都府から山口県までのいわゆる脊梁山脈的な山地で点々と得られている中型のクロコメツキ類の一つのようで、クロコメツキ *A. ivanovi*, タカハチクロコメツキ *A. takahachi*, スオウクロコメツキ *A. kaorutanakai* 等に極めて近似の種であるが、貯精嚢内の刺状突起の形状と本数がこれらとは異なる。これらの中では鳥取県高鉢山を基産地とするタカハチクロに最もよく似ているが、更に検討の上決定したい。

***Dalopius suoh* KISHII, 2004 スオウナカグロヒメコメツキ**

島根県鹿足郡匹見町七村, 1♂, 27. IV. 2002; 安蔵寺山, 1♂, 1♀, 2. VIII. 2003; 広島県山県郡芸北町臥竜山, 1♀, 7. X. 2001.

山口県東部山地での多くの資料で記載され、隣接する広島県西部山地での分布も既に知られていたため、島根県での分布は当然であるが、その資料は上記のものが初めてとなる。兵庫と岡山



5. オオシモフリコメツキ
6. ミヤコアラハダチャイロコメツキ
7. クロコメツキの一種
8. オオクロナガコメツキ

両県の山地に分布し対岸の四国山地からも知られる、チュウゴクナカグロヒメコメツキ *D. bizen* と一見同じように見える種であるが、触角第2節は明瞭に肥厚し、次節より大きく長い。また頭部点刻も大型で、蛇の目状が密であるが、大きさは不規則で部分的に網目状になり、通常点刻間の間隙は不明瞭である。その他前胸背点刻、上翅間室状態、雄生殖器官構造等に異なる点が多く見られる。

***Elater (Elater) niponensis* (LEWIS, 1894) オオクロナガコメツキ (写真8)**

鳥根県鹿足郡匹見町安蔵寺山, 1♀, 2. VIII. 2003.

本科の基本属となる *Elater* 属の邦産唯一の種で、ヨーロッパ産の基本種 *E. ferrugineus* とは体色以外では大きさ形状共に極めてよく似た種である。北海道・本州・四国・九州の各地と屋久島から知られるが個体数は少ない。韓国からの記録もあるが疑問で、現在の所本邦固有の種と言えよう。中国地方では山口博物館の記録(1988: 150)に寂地山で1969年7月、後藤和夫氏採集の記録があるのみであるが、筆者が検した同博物館所蔵標本中には見あたらなかった。今回のものは鳥根県初記録となる。

<参考文献>

- 岸井尚. 2002. 田中勇氏蒐集のコメツキムシについて. *Nejirebane*, 100: 1-11.
 三好和雄. 1993. 山口県下でのスズキシモフリコメツキの採集例. 月刊むし, 274: 13.
 山口県立山口博物館. 1988. 山口県の昆虫: 1-197.

ねじればね 112号 Nejirebane No. 112

2005年2月25日 25. Feb. 2005

発行者: 日本甲虫学会 (会長 佐々治寛之) The Japan Coleopterological Society

発行所: 日本甲虫学会 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館・昆虫研究室気付

Entomological Laboratory, Osaka Museum of Natural History, Osaka, 546-0034, Japan

振替口座: 00990-8-39672 URL: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/jcs.html>

Tel. 06-6697-6221 Fax. 06-6697-6225 E-mail: shiyake@mus-nh.city.osaka.jp

編集: 水野弘造, 林靖彦, 谷角素彦, 初宿成彦, 保科英人, 伊藤建夫

原稿送付先: 水野弘造 〒611-0002 宇治市木幡熊小路 19-35 Tel & Fax. 0774-32-4929

E-mail: kzmizuno@oak.ocn.ne.jp (和文, E-mailでの投稿を歓迎します)

入会及び会費問合せ先: 野村英世 〒590-0144 堺市赤坂台 1-18-5 Tel. 0722-98-4066 (年会費 5,000円)

昆虫学評論原稿送付先(英文): 吉川鮎美 〒534-0023 大阪市都島区都島南通 1-17-1 大榮商会